



多可きんタイムズ

2014.7.1
平成26年28号

発行:多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142
E-mail: kodomo@town.taka.lg.jp



表紙写真 中町南小学校

おもな内容

- 夜9時以降SNSやりません運動
- 携帯電話等の所有率と
ラインの使用状況調査
- 家庭教育支援冊子の紹介
- ピックアップ学校園

「夜9時以降(LINE・カカオトークなどの) SNSやりません運動」を実施しています。 みなさまのご協力をお願いいたします。



多可町PTA協議会・多可町各中学校生徒会・多可町小中学校・多可町教育委員会

ネットに接続できる携帯電話やスマートフォンは、確かに便利なものですが、心身の未発達な青少年には望ましくない情報が安易に閲覧できたり、ネット上のいじめや有害サイトを通じて犯罪に巻き込まれる危険性があることも事実です。

また、LINE(ライン)やメールのやりとりについては、なかなか途中でやめられない状況があり、勉強や健康にも支障が出ているといった話も耳にします。

△「夜9時以降(LINE・カカオトークなどの)SNSやりません運動」に協力を！

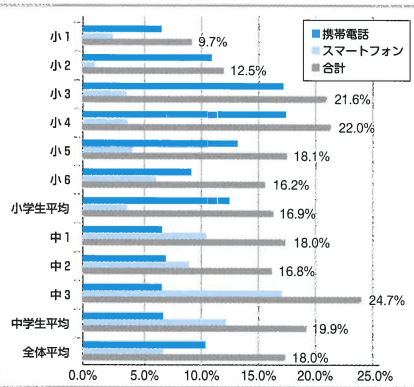
5月15日(木)に開催された多可町PTA協議会総会で、「夜9時以降(LINE・カカオトークなどの)SNSやりません運動」が提案され、PTA、生徒会、学校、教育委員会が一体となって取り組むことになりました。町民の皆様にも子どもたちが夜9時以降にLINEなどをしてはいけないことになっていくんだよ」と注意していただければ幸いです。

あわせて、子どもたちの携帯電話やスマートフォンに対するフィルタリング(有害サイトにつながる規制)ができていくかどうかの再度の確認をお願いします。

多可町の子どものための健全育成のため、町民の皆様あげて協力いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

携帯電話・スマートフォンの所有率

	携帯電話	スマートフォン	合計
小1	7.0%	2.7%	9.7%
小2	11.4%	1.1%	12.5%
小3	17.7%	3.9%	21.6%
小4	18.0%	4.0%	22.0%
小5	13.7%	4.4%	18.1%
小6	9.6%	6.5%	16.2%
小学生平均	13.0%	4.0%	16.9%
中1	7.0%	11.0%	18.0%
中2	7.4%	9.4%	16.8%
中3	7.0%	17.7%	24.7%
中学生平均	7.1%	12.7%	19.9%
全体平均	10.9%	7.1%	18.0%



多可町教育委員会で実施した最新の「子どもたちの携帯電話・スマートフォンの所有率」LINEの使用状況調査の結果をお知らせします。(平成25年12月実施)

Q1 あなたは、自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか。

子どもたちの携帯電話・スマートフォンの所有率 及びLINE(ライン)の使用状況調査結果

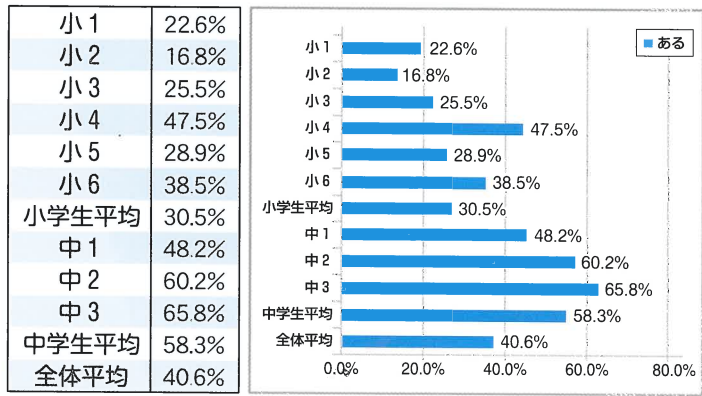
多可町の小中学生で自分の携帯電話やスマートフォンを持っている割合は、小学生が約17% (1,265人中214人)、中学生が約20% (715人中142人)、小中学生あわせると約18% (1,980人中356人)でした。全国の平均がベネッセの調査では小学生で26%、中学生で47%ですので、多可町は全国に比べてかなり低い所有率となっています。

また、小学生では携帯電話の方がスマートフォンより所有率が高いのですが、中学生になると逆にスマートフォンの方が携帯電話より所有率が高くなっています。



Q2 あなたは、LINEをしたことがありますか。

LINEをしたことがある



携帯電話やスマートフォン、ゲーム機等を使ってLINEをしたことのある児童生徒の割合は、保護者等のものを使った場合も含むと、あわせて約41%（1,980人中803人）ありました。

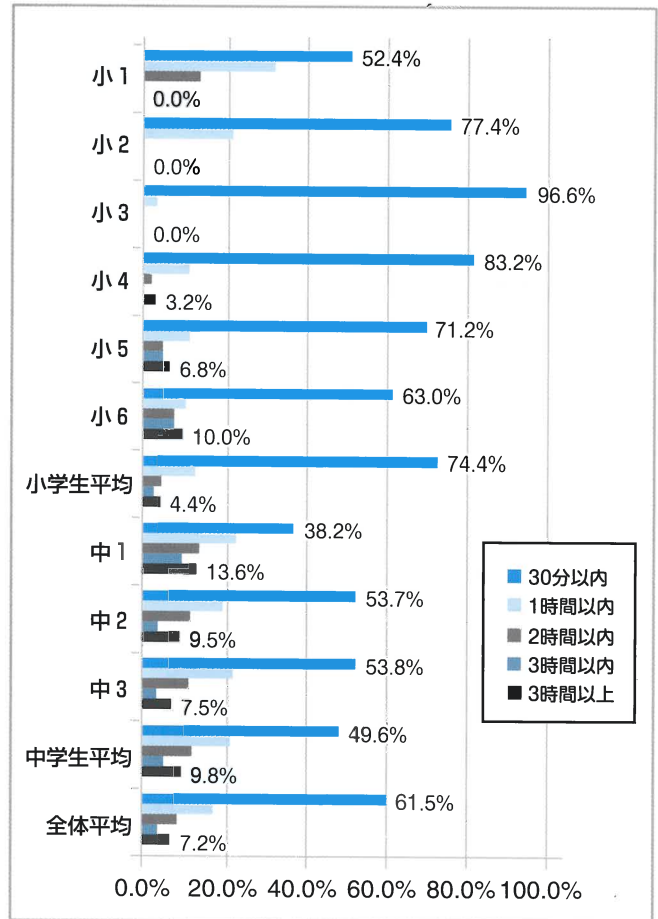
小学生では4年生が最も多く、約48%もの児童がLINEを経験しています。

中学生では高学年になるほど割合が高くなり、特に3年生では約66%もの生徒がLINEを経験しています。

LINEの利用時間

	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	3時間以上
小1	52.4%	33.3%	14.3%	0.0%	0.0%
小2	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%
小3	96.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
小4	83.2%	11.6%	2.1%	0.0%	3.2%
小5	71.2%	11.9%	5.1%	5.1%	6.8%
小6	63.0%	11.0%	8.0%	8.0%	10.0%
小学生平均	74.4%	13.5%	4.9%	2.8%	4.4%
中1	38.2%	23.6%	14.5%	10.0%	13.6%
中2	53.7%	20.4%	12.2%	4.1%	9.5%
中3	53.8%	23.1%	11.9%	3.8%	7.5%
中学生平均	49.6%	22.3%	12.7%	5.5%	9.8%
全体平均	61.5%	18.1%	9.0%	4.2%	7.2%

Q3 LINEをする時間は、どのくらいですか。



LINEを利用したことがある小中学生全体で見ると、LINEの利用時間が30分以内が約62%と一番多く、続いて1時間以内が約18%という結果でした。

またLINEの利用時間が3時間を超える小中学生もいることがわかりました。小学6年生では約10%、中1では約14%もの児童生徒が利用しており、小中学生を平均すると約7%いることがわかりました。逆から見ると約4割が30分以上LINEをしていることがわかり、子どもたちのLINE利用に対して何らかの取組が必要であると考えます。

LINE(ライン)とは

スマートフォン等を使った「無料通話アプリ」と呼ばれる新しいコミュニケーションツール(道具)で、その代表のひとつがLINE(ライン)です。

コンピューターネットワークを介して一対一だけでなく、複数人で実際の会話のように短い文章や画像、動画のやり取りができます。また、LINE同士ならどれだけでもしなくても無料で通話できるなど、スマートフォンの普及に伴い手軽さや経済性で急速に利用者を増やしています。



「家庭教育支援冊子」をぜひ活用ください

基本的な生活習慣や家庭での学習情報モラル、子育てなどを盛り込んだ啓発冊子を作成しました。お子様を通じて各ご家庭に配付し、学校園やPTAとも連携しながら、活用に向けた取組を行っています。

家庭教育支援冊子

「家庭を学びの環境に、明日の多町を担うところ豊かな人づくり」



就学前

基本的な生活習慣を身につけ、やる気を育てる

◇育ちの特徴

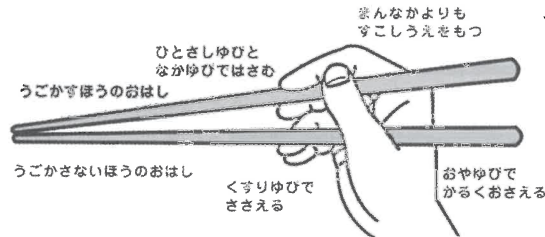
- ・ 少しずつ身の回りのことができるようになってくる
- ・ 何事にも興味関心をもてる

◇ワンポイントアドバイス

- ・ 外で思いっきり遊んで健康な体づくりを
- ・ 遊びから学ぶことはたくさんあります
- ・ 我慢することや約束を守ることなどにしても教えましょう
- ・ 子どもの話に耳を傾け、積極的に褒めましょう

おはしのもちかた

おはしをたたく持ちましょう



小1・2

基本的な生活習慣をきちんと身につける
学習：20～40分

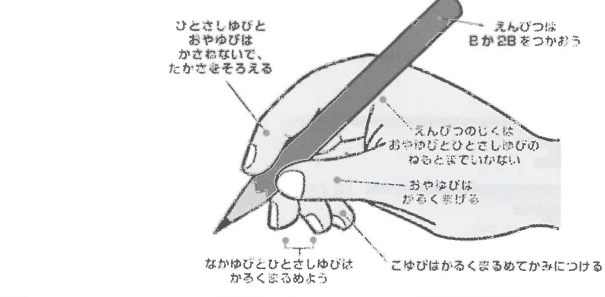
◇育ち・学びの特徴

- ・ 家族も手助けして学習内容や方法を決めましょう
- ・ まわりの褒め言葉が意欲を生み出します

◇ワンポイントアドバイス

- ・ 基本的な生活習慣の確立が学習の習慣の定着につながります
- ・ 最後までやり終える
- ・ 家族も一緒に根比べ
- ・ 子どもに家事を！
- ・ 高学年・中学生になっても子どもが見ています！
- ・ 子どもは親のうしろ姿を見て育つ

えんぴつのだいたいもちかた



小3・4

自ら机に向かう姿勢を育てる
学習：50～60分

◇育ち・学びの特徴

- ・ 自分でやろうとすることが多くなるが、手助けは必要です
- ・ みんなと行動することを好むとともに自立の一步を踏み出します

◇ワンポイントアドバイス

- ・ 宿題以外の学習にも挑戦！
- ・ すすんで学ぶ好奇心を
- ・ テレビやゲームは時間を決めて！
- ・ 家族の協力を
- ・ ほかの子どもと比べない！
- ・ がんばりを本気でほめる

家庭学習のコツ！3が条

- 1 宿題以外の学習にも挑戦！～すすんで学ぶ好奇心を～
宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていくとよいでしょう。そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけをしましょう。家事を分担し、進んで行うことも、リッチな学習です。
- 2 テレビやゲームは時間を決めて！～家族の協力を～
テレビやゲームに夢中になって、時間がだらだらと長くなることがあります。けじめをつけさせることが自律性や学習への集中力を育てることに必要です。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。また、親のテレビを見る姿勢も大切です。
- 3 ほかの子どもと比べない！～がんばりを本気でほめる～
学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟姉妹で成長を比べることは避けて、本人の「がんばり」を見逃さずに本気でほめましょう。



小5・6

自ら予定を立て、
自力で学習を進める
学習：70～90分

◇育ち・学びの特徴

- ・考える力も大人並になります。
- ・自分を客観的に見つめたり、友だちと比べたりするようになります
- ・小学校の学習のまとめをして、中学校へつなげる大切な学年です

◇ワンポイントアドバイス

- ・予定を立て、計画的な学習を！
- ・勉強時間を決めて！
- ・今一度、基本的な生活習慣の見直しを！生活リズムを！
- ・目標に向かって努力することの大切さを！

家庭学習のコツ！3か条



- 1 **予定を立て、計画的な学習を！**～勉強時間を決めて～
放課後もあわただしく過ごす子どもが多く見受けられます。その日の予定を立て、見直しをもって学習させましょう。必ず学習する時間帯の設定をさせましょう。
最初は予定通りできないこともあります。長い目で見守りましょう。
- 2 **今一度、基本的な生活習慣の見直しを！**～生活リズムを～
生活リズムの乱れは、勉強がいつにながります。「早寝早起き・夜更かしをしない」「朝食をとる」「朝に排便を済ませる」「テレビやゲームの時間を決める」など、中学校生活に向けて、今一度生活習慣の見直しをさせましょう。家事の分担も積極的に進めましょう。
- 3 **目標に向かって努力することの大切さを！**
子どもの将来の夢や希望、勉強する目的や勉強方法、学校の学習の様子や親の失敗談などを話題にして、目標をもって努力することの大切さを伝えましょう。どれだけがんばったのかが大切です。子どもに「偉人伝」を読ませてみるのもよいでしょう。

中1・2

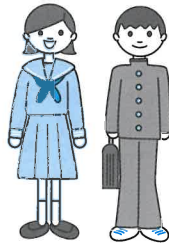
計画的・継続的な
学びを進める
学習：100～120分

◇育ち・学びの特徴

- ・いわゆる「思春期（大人への入り口）」といわれる時期です
- ・まだ未熟ではあるものの、大人と同じような思考ができ、頼りがいが出てきます

◇ワンポイントアドバイス

- ・予習で工夫を！復習に重点を！
- ・学校（先生）のプリントの有効活用を！
- ・「急がば回れ」の気持ちで！



家庭学習のコツ！3か条



- 1 **予習で工夫を！復習に重点を！**
あらかじめ自分で調べたり考えたりして授業に臨めば、課題を見つける力もつきます。また、その日のうちに教科書やノート、プリントを使って学習のポイントを整理し、思い出すように働きかけましょう。「継続」は「習慣」となり、いずれ「性格」にも影響します。
- 2 **学校（先生）のプリントの有効活用を！**
学校（先生）のプリントには学習のポイントが整理されています。有効利用するようにアドバイスしましょう。また、テストの直しはとて重要ですが、間違えた問題をやり直すことはかなりの努力が必要です。しかしこれこそが理解の近道となります。間違えた問題はチャンスとして生かしましょう。
- 3 **「急がば回れ」の気持ちで！**
問題に取り組んでいてわからない時は、わかるころまで戻ってやり直すとともに、間違えたところは必ず見直すことが大切です。先生に相談することもよいでしょう。学習課題をやりきったという達成感と自信がさらなるやる気を起こします。

中3

励まし、自分の目標を
明確にもたせる
学習：120～180分

◇育ち・学びの特徴

- ・自らの進学や就職などの進路決定をする時がだんだん近づいてきます
- ・親の保護のもとから、社会へ参画し貢献しようとする行動力が発揮されます

◇ワンポイントアドバイス

- ・今一度家族みんなで生活習慣の点検を！
- ・朝食は必ずとる！
- ・睡眠時間はたっぷりと！
- ・計画的に時間を使う！
- ・あいさつや会話を大切に！

中学3年生になったら 今一度家族みんなで生活習慣の点検を！



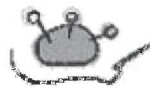
- 朝食は必ずとる！**
大切なエネルギー源で脳の働きにも関係します。
- 睡眠時間はたっぷりと！**
睡眠不足では疲れがとれません。夜更かしはやめ、明日の生活にベストコンディションで臨めるようにアドバイスしましょう。
- 計画的に時間を使う！**
特に部活動を引退後は帰宅してから夕食までの時間を有効に活用して生活リズムを整えましょう。テレビなどの視聴は番組を選び、時間を決めるよう働きかけましょう。分担した家事も続けましょう。
- あいさつや会話を大切に！**
「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」のあいさつはもちろん、楽しい会話で家族の絆を強く感じることが出来ます。

子どもを 有害情報から守るために

◇保護者の理解と見守りが子どもを守ります

今の子どもたちに必要なのは、共に考えながら良い方法を模索してくれる大人です。システムでできることは任せ、人にしかできないことをする。難しい時代ですが、工夫しながら乗り切りましょう。





中町幼稚園

今年度、中町幼稚園では、新しいお友だち54名を迎えました。広い園庭、素晴らしい自然環境の中で、毎日元気いっぱい友達と仲良く活動しています。

中町幼稚園の給食は、小学校や中学校と同じ献立で、多可町学校給食センターで作られたものをいただいています。毎年6月頃に、給食センターの見学に行きます。

○給食が作られている場所や調理方法、調理器具などに興味や関心をもつ。

○給食でお世話になっている方々に感謝の気持ちをもつ。

これらのことをねらいとしています。大きな鍋や器具、たくさん材料や、一生懸命に作ってくださったいる栄養士さんや調理員さん達の姿に、子ども達は驚きの連続だったようです。見学から園に帰って、自分の好きな給食の絵を描いたり、見学してきたことを話したりしました。



～のっぽのけやきのように、すくすくと 中町幼稚園～

また、6月の参観日には、在宅栄養士の伊藤さんにお世話になって、『キッズすくすく食育教室』を行い、紙芝居も交えながら、朝ごはんの大切さなどについて教えていただきました。その後、保護者の方には給食の試食をしていただくこうと、親子給食会を行いました。

子ども達はお家の方と食べる嬉しい給食であり、保護者の方は気になっていたりわが子の食べる様子を見たり、懐かしい給食を味わわれたりして、和やかな雰囲気親子給食会となりました。

幼いころの食との出会いや、人とのかわりが、子どもの食に対する感性を育て、生涯の食行動や食習慣に、大きな影響を与えると考えられます。

これからも、いろいろな活動を通して、子どもの身体と心を育んでいきたいと思っています。



キッズランドかみ

主体的に遊ぶ子どもの育成

【保育・教育目標】

「わくわく にこにこ」

「自然だいすき げんきっ子」

「人や自然に自らかかわり、

思いやりと感謝の気持ちをもつ子どもを育てる」

開園から四年目を迎え、地域や家庭の方々に支えられて、園庭にはログハウス、木製遊具（かみっこツリー）も完成しました。手作りの遊具が少しずつ増え、子ども達の遊びも広がっていると嬉しく思います。乳児から幼児まで異年齢のふれあいを楽しんでいます。



【かみっこツリー】
「長い間ぶら下がれるよ」

園庭遊びだけでなく、園外の自然にもふれる中で、のびのびと体を動かし、心身共に健康な子どもの育成を目指しています。園児達は、草花や生き物に関心をもったり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わったりしています。

保育者は、子ども同士が共に育ち合う関係を築けるような環境づくりに取り組んでいるところです。友達と存分に遊んだり試したりする場を工夫しながら、好奇心や探求心を育て、自ら学ぼうとする意欲がもてるように努めていきたいと思っています。

【運動場】
「みてみて！回ったよ」



【砂場】
「ケーキのできあがり～」



びっくあつ

わんぱくキッズ!

「園外保育、わんぱくデー」

八千代にいなながら、八千代のことをあまり知らない…そんな子ども達や保育者が多いことから、今年度は、故郷の自然にふれようと八千代のいろいろな場所を探索することにしました。

八千代でしか味わえない、四季折々の風景をみたり、小鳥のさえずりを聴いたり、匂って、触って、味わって…。ふるに五感を働かせていきたいと思えます。

また、「わんぱくデー」には、異年齢交流というもう一つのねらいがあります。園で遊ぶ時も、大きな子が小さい子を見守ったり、手助けをしてあげたりしています。これが園外でもできないかと、3歳児から5歳児の縦割り、3つのグループに分けて、出かけることになりました。

初めての わんぱくデー



3歳児にとっては初めてのわんぱくデー。エーデルささゆりまで歩きましたが、そこにたどり着くまでのコースは、5歳児がくじを引いて決めました。

平坦な道、歩道を通るルート「ニコニココース」。トトロの森を抜けるルート「ドキドキコース」。山の頂上を目指し遊歩道を歩くルー

キッズランドやちよ

ト「メラメラコース」。どのコースも面白くて、5歳児のリードのおかげで、楽しい散歩になりました。



おうちからのお散歩 わんぱくデー

保育ボランティアのお母さん方にお世話になり、下三原地区の川沿いからせせらぎの小径を歩きました。沿道に、たわわに実った紫のさくらんぼを、5歳児が「小さい子からな。」と言いながら採ってやり、自分も食べたいのを少し待って、譲りながら口や手のひらを紫に染めながら、おいしくいただきました。

また、園庭で採れた梅の実で作ったジャムを持参し、木陰でおやつにジャムクラッカーを食べ、楽しいひと時を過ごしました。



これからも「ぐるりやちよめぐり」7か所を予定しています♪

愛する人を救うために

「PTA救急法講習会」

今日、学校や会社、地域において、AEDを使用した救急法講習会が広く進められています。本校でも、毎年PTAが主催となり、プール水泳の前に実施しています。児童の方が一の事態に備えて、これまでも消防署員の保護者の方や「ボランティア勇気」の方に講師として来ていただき、指導を受けてきました。平成23年度から、卒業生の保護者がAEDの使い方ももっと多くの方に知ってもらいたいと、指導してくださるようになりました。その保護者が病院のスタッフであったことから、現在も継続してお世話になっています。

平成25年度より、AEDが普及するきっかけとなったDVDを鑑



賞してから実技を実施しています。自分がかげよること、大声で助けを呼ぶことで、AEDを使えることで、愛する人を救うことが実感でき、手の皮がめくれるまで熱心に練習される保護者の姿もありました。

さて、本年度の講習会にはPTA 28名、職員15名の計43名が参加しました。看護師に加え、救急救命士3名を交えての専門的な講習会となりました。ここ数年で心肺蘇生法は簡略化されており、誰もが「難しい」という抵抗なく実施できるよう、心臓マッサージに重きが置かれています。本校でも、心臓マッサージとAEDの手法を繰り返し練習し、熱気ある講習会となりました。

中町南小学校



中町北小学校

土曜チャレンジ学習

子どもたちに新しい学びの場を。体験を通して豊かに学ぶ。そして、学びを通して子どもを鍛える。

今年度新しく取組を始めた「土曜チャレンジ学習」。地域の教育力をお借りし、保護者の皆様のご支援も得て、バラエティーに富んだ内容で学習を進めています。

5月は10日に5年生、17日に2年生、そして、24日には3年生が、保護者の皆さんと共に学習しました。

【チャレンジ】5年生

【英会話でトレジャーハンティング】

多可町、西脇市でお勤めのALT(外国語指導助手)の先生方に指導いただきました。校舎内のあちこちに隠されたアルファベットカードを英語で示されたヒントを手がかりに探します。カードを全て集めて並べかえると「I LIKE ENGLISH」。楽しみながら英会話に親しみました。



【チャレンジ2】2年生

【三畳作り】

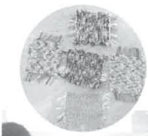
畳屋さんを営まれている職人さんが講師さんです。25cm四方のミニ畳づくりです。芯材に畳表を貼り付け、周囲を模様入りの縁テープで留めます。少し力があるところもありましたが、そこはお家の方がいらつしゃるので大丈夫。新品の畳のおいがすてきでした。



【チャレンジ3】3年生

【織織りでコースター】

ミニ織機を用いてのコースターづくりです。とても精巧に手作りされた織機には縦糸がセットされています。そこへカラフルな横糸を編んでいきます。最後に端の始末。細い縦糸を4本ずつ束ねて結び留めると、おしゃれなコースターのできあがりです。



松井小学校

伝統のふるさと学び～千ヶ峰登山と杉原紙カレンダーづくり～



ふるさとの未来と自らの生き方においてふるさと教育は大切なものです。松井小学校のふるさと教育の取組を二つ示します。

まず、千ヶ峰登山。学校沿革誌に「昭和34年12月7日に全校生による千ヶ峰登山を実施す。」とあります。遡ると、昭和16年に本校の高学年の時に千ヶ峰登山をしていたとの卒業生の方の話もあります。何十年続いている学校行事です。現在も、秋の登山道を、保護者地域、山岳ボランティアのご協力のもと、楽しみながら励まし合いながら山頂をめざしています。ふるさとの自然を体いっぱい感じるとともに、登頂の感動と忍耐力および協調性の育成に取り組んでいます。昨年度は、雨天中止となりましたが、6年生(H25年度卒業生)の登頂への強い願いを受けた保護者のご協力により6年生親子登山として実施しました。



二つ目は、杉原紙カレンダーづくり。昭和55年度に、「松井っ子にふるさと教育を」のねらいのもと、ふるさとの自然と人が生み出す強くて温かな風合いを持つ杉原紙と地域を結ぶ杉原紙カレンダーづくりが始まりました。児童が図案を考え木版を行い、杉原紙に印刷しました。当初は、5年生の取組として始まり、今では、3年生以上の児童による製作で3年間続いていきます。毎年、刷り上がったカレンダーは、校内掲示をはじめ、お世話になっている校医先生や公民館など、町内外の施設・事業所等に、全校児童による手書きのお礼の手紙を添えて配布しています。本年度より、多可町全域の公共施設等へのお届けを予定しています。また、今年の8月に加美プラザにおいて、本校PTA主催による「松井っ子杉原紙カレンダー歴史展」を開催する予定です。ふるさとに育ち、ふるさとを愛し、よりよく生きる子どもたちの成長を願って、今後も、この伝統ある取組を続けていきたいと考えています。



びっくあつ

ぼくたちの 私たちの 自慢 芝生の運動場

子どもたちに、「私たちの学校自慢は何か？」と尋ねると、「芝生の運動場！」と言う答えがたくさん返ってきます。兵庫県下において芝生化された運動場を持つ学校は少ないでしょう。子どもたちもそのことをよく知っています。

子どもたちは、毎日芝生の感触を楽しみながら運動場を駆け回っています。中には裸足になり芝生に寝っ転がる児童もいます。体育の授業で、そして休み時間に、自然の絨毯の上で、目いっぱい体を動かしている子どもたちです。

この校庭の芝生化は、平成21年6月20日に、保護者と園児・児童、そして地域ボランティアが力を合わせ13,350ポットの苗を植え付ける作業からスタートしました。それから丸5年、グリーンキーパーズや地域の皆様のご協力もあり、素晴らしい環境を整えていただいております。



芝生の運動場ならではの行事も持っています。『裸足の運動会』や『交流グランドゴルフ大会』です。運動会は、児童だけでなく保護

杉原谷小学校

者・高齢者の皆さん、そして来賓の方々も裸足になって競技に参加されます。参加者からは「芝生の感触が心地よかったです。」と好評価をいただいております。

また、『交流グランドゴルフ大会』は、小学生と高齢者が共に楽しめるスポーツを通じて交流することにより、相互理解を図るとともに高齢者を尊ぶ態度を養うことをねらいとし、小学校5・6年生と校区内の各單位老人クラブの会員の皆様を対象に、3年前から行われているものです。



最初は緊張している子どもたちですが、おじいちゃん・おばあちゃんからの優しい語りかけに、次第に心を開き、和やかな雰囲気の中で会が進んでいきます。現在では、緑の芝生の上に笑顔の花が咲いて、咲く素敵な大会になっております。

今年も老人クラブの皆様のご協力を得ながら、第7回大会を6月、第8回大会を秋に行います。実りある大会になるよう取組を進めると共に、今後も本校の特色である芝生の運動場を有効利用するため、更なる努力をして参ります。

がんばっています



八千代南小学校では、4月から児童会役員を中心に6年生・5年生が楽しく、明るく、節度を持って学校生活を送ることが出来るように様々な取り組みを行っています。

一、あいさつ運動



児童会役員と学級委員が、毎朝、校門前で登校してくる児童に大きな声であいさつをしています。「気持ちよくあいさつとお礼ができる」を今年も約束にしており、まず自分たちからと児童会が率先して取り組んでいます。

二、なかよし遊び

毎月1回、月曜日の業間を利用して各地区ごとに「なかよし遊び」を行っています。上級生が遊びを考え、1年生から6年生まで、同じ遊びをします。上級



生のリーダーシップのもと、楽しそうな歓声が、運動場いっぱいに響き渡っています。

三、児童朝会

趣向を凝らした朝会を児童会と6年生を中心に行っています。5月には、今年で4年目を迎える、「6つの約束」。



今年から1つ増えて『7つの約束』の寸劇を披露し、全校児童にわかりやすく説明することが出来ました。

紹介した以外にもたくさん取り組みを行っています。本校のホームページをぜひご覧ください。

最後に『7つの約束』を紹介します。

- ① あいさつとお礼が言える
- ② 丁寧な言葉づかいができる
- ③ 一生懸命に掃除をする
- ④ 校舎内で暴れたり、走ったりしない
- ⑤ いじめや仲間外れはしない
- ⑥ きちんと並んで登下校をする
- ⑦ トイレのスリッパをそろえる

八千代南小学校



無言で全校草引き



「あのなあ、昨日なあ……」シーッ、しゃべったらあかんで。」上級生からの注意が聞こえます。全校草引きでの一コマです。「掃除を真面目にしない子がいる。」これは本校の課題の一つでした。掃除区域が多く、先生達の目が行き届かないことも原因の一つではないかと考え、今年には掃除の分担区域を見直すことにしました。その結果、定例掃除から草引きを外し、そのかわりに月に数回、全校草引きの時間を取り入れることになったのです。ささゆり班(縦割り班)を中心に、「無言でやろう」と呼びかけで行っているこの全校草引きは、現在、たった7名という少ない人数の6年生が、最上級生としての責任・役割をしっかりと自覚して、下級生をリードしてくれています。本当に頼もしく感じます。ここ2回は、赤組・白組に分かれて

の競争でしたが、結果は白組の1勝1引き分け。果たして次回はどうかなるか!



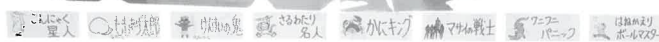
強い体と心を! 食育デー



6月2日(月)、例年以上に多くの保護者の方にお越し頂き、「給食試食会」を行いました。またこの日は、4校時、1・2年生を対象に「そら豆くん」に、5校時には5年生を対象に中谷先生(給食センター)にお越し頂き、バランスの良い食事を取ることの大切さを指導して頂く等、まさに「食育デー」となりました。多くの保護者の方と一緒に食べる給食に、いつも以上に子どもたちのテンションは上がります。「家ではあんなに食べないのに、給食はしっかりと食べていたので嬉しく思いました。」といった保護者の方からの感想がありました。栄養をきちんと考えて作られた給食も、みんな食べてこそ意味があります。「こちそうさま」が終わった後も、顔をしかめて食べている子どもがいつも数名:かわいそうに感じますが、強い体と心を作るため、努力しよう!



やちリンピック



2020年(平成32年)に東京でオリンピックが開催されることが決まっています。そのとき活躍が期待されるのは今の小中学生ですが、10年くらい前の調査で日本の11歳児の運動量は、28か国中最下位だったそうです。

本校でも、毎年体力テストを行い、子どもたちの体力の状態を調べています。その結果、柔軟性や筋力に課題がありました。子どもたちは、元気に遊んだり運動をしたりしているように思えますが、昔に比べると、遊び方や運動に偏りが見られ、「運動量の減少」と「基本的な動作の未習得」が体力・運動能力低下の要因と考えられます。

そこで、本校では、楽しみながら多様な運動を行う中で、基本的な動作の習得と運動の習慣化を図る取組として、「やちリンピック」を始めました。「やちリンピック」の売りは、ネーミングです。「やち」は校名の1文字と種目の数を表

します。種目名も、「こんにやく星人」「ももあげ太郎」「けんすいの鬼」「さるわたり名人」などユニークです。また、年間を通じた活動にするために、体育委員会の子どもたちが中心となって、週3回、業間に行います。もちろん雨の日も体育館でできるように考えてあります。そして、子どもたちの意欲を持続させるために、目標を決め、目標に到達した児童を掲示したり、児童集会で体育委員会制作の解説ビデオを流したりもしています。

今のところ子どもたちの評判は上々です。この取組が、東京オリンピックで実を結ぶことを夢見て、より効果的な種目を考えたり、子どもたち自身に上達が見えるような手立てを工夫したりしながら、体力・運動能力の向上をめざして粘り強く取り組んでいきます。





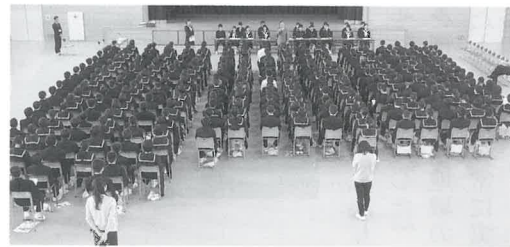
びっくあつ

生徒総会

『よりよい学校を目指して』

5月7日に、中町中学校では生徒会活動の目標と計画を決める生徒総会を開催しました。生徒会長からは本年度のスローガン『翔華』を超えて『咲き誇れ』が紹介されました。このスローガンには、自分の壁を乗り越えて個性を磨くことで、中町中をさらに輝かせたいという、

生徒会役員の思いが込められています。この思いのもと、本年度は多くの新しい取り組みが実施されています。その一部を紹介いたします。



○学芸部

本年度から学芸部が主体となり、生徒朝会のあとに校歌を歌っています。11月の文化祭ではすばらしい歌声をご期待ください。

○美化部

美化部では清掃マニュアルを新しく作り替え各教室に掲示しています。美しい学校を目指してがんばっています。



○生活部

生活部では戸締まりコンクールを実施します。自分たちの教室を大切にできる学校を目指します。

他にも、生徒会が主体となり様々な取り組みを行っています。オープンスクールや各行事を通して、生徒たちの生き生きとした取り組みに注目していただきたいと思えます。



心をひとつに絆を深めた1年生

○野外活動

4月に入学して1カ月、まだ小学生気分の残る1年生が、学校を離れ、鉢伏高原で2泊3日の野外活動を行い、「仲間意識や自律的な生活態度」など、中学生としての心構えを深めました。

雄大な自然 爽やかな風

○集団訓練

雨の降りしきる中行われた学級ごとの集団行動訓練では、変わりやすい山の天候からくる寒さにも、愚痴一つこぼさず、懸命に取り組む姿を見せてくれました。雨に濡れた生徒たちの顔は、達成感と自信に満ち溢れていました。

「ルールを守って楽しく活動！」をスローガンに、生徒の中から選ばれた8名の実行委員を中心に、飯盒炊さんやスタンプ、鉢伏山登山など様々な体験をしました。「静・動の切り替えをしつかりとし、自分の仕事を積極的に、責任をもってやる。」の目標を、生徒一人一人が自覚して活動を行うことができ、実りあるものになりました。

○再確認

野外活動を通して、改めて自然の力を感じると共に、仲間の大切さを学び、学級・学年の団結力も強まりました。本物の中学生への一步を踏み出した1年生。野外活動で学んだことを、今後の学校生活に活かしてくれることと思います。

集団行動訓練



飯盒炊さん



竹箸づくり



八千代中学校

6月2日からの1週間、2年生(61名)が多可郡内二十の事業所で「トライやる・ウィーク」に参加しました。



活動後、生徒達からは、「楽しかった」、「やりがいを感じた」との声。学校を飛び出し、地域の方々と過ごした1週間は非常に実り多いものになったようです。

また、「『ありがとう』と言っていたことがうれしかった」と、なにげなく口にかけている言葉の大切さに気付いたという生徒。「聞く姿勢がしっかりしている」と事業所の方に褒めていただいた生徒など、普段の生活の面でも、明るく・強く・美しい八千代中学生らしさをしっかりと発揮していました。



各事業所では、ご多忙の中、丁寧なご指導、かけがえのない学びの場の提供など大変お世話になりました。この経験を今後の学校生活で存分に生かし、さらに学びを深めてくれることでしょう。

6月27日には「トライやる・ウィーク」の活動報告会を開催しました。生徒たちは、入念な事前準備を行い、お世話になった方々や後輩に自らの学びを伝えることができました。



みどり保育所

意欲と思いやりの心を育てる

みどり保育所では、「意欲と思いやりの心を育てる」ことを保育目標に、①友達や動植物とのかわりを大切にし、思いやりの心を持つ。②お話や直接体験を通して、情操豊かな心・表現力・創造性を身につける。③自立心を養うための基本的な生活習慣を身につける。を旨として保育をしています。そして、主に自然との遊び・運動遊び・絵本の読み聞かせ・食育など様々な経験を通して、いろいろなことが好きになるきっかけ作りを心がけています。



このような経験をする中で、自分で考え、学んで頑張っている姿を私達がしっかりと認めていくことで、自分に自信が付き、意欲が育つています。

また、すばらしい自然に囲まれた多可町。子ども達は保育所周辺に散歩に出かけては、季節のさまざまな自然に触れて遊んだり、特に5歳児は、毎月、おにぎり弁当を持って園外保育に出かけたりすることを、とても楽しみにしています。その度に、季節の自然の美しさ、雄大さに子ども達と共に感動しながら、その自然の中で遊べる事が子ども達にとってどれほど幸せであり、大切なことを強く感じています。そして、いつも保育に協力してくださる保護者の方々、温かく見守ってくださる地域の方々に感謝しながら、共に子ども達の生きる力を育んでいきたいと考えています。





びっくあつ

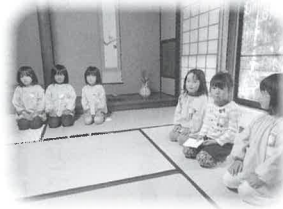
あさか保育園5歳児保育の取り組み

あさか保育園では、現在6名の5歳児（来年度小学1年生）が在籍しています。今回は、この5歳児の取り組みについて紹介します。

①毎週行う活動

(一) 体操教室

毎週月曜日は、外部より体操の先生に来てもらい、体操を教えてもらっています。今は跳び箱、鉄棒を中心に教えてもらい、9月の運動会で成果を見てもらいます。



(二) ダンス教室

火曜日には多可町の「スタジオ・ビー」の先生に教えてもらっています。こちらも、運動会での発表と「多可町こども芸能祭」への出演を目標にしています。

②毎月行う活動

(一) 山登り

この豊かな自然に囲まれた多可町で生まれ育ったことに、喜びを感じ、大人になっても多可町を愛す人間になってくれることを願って始めました。「なか・やちよの森公園」



内の「黒木山」やその他の山、中区鍛冶屋の「浅香山」そして、多可町で一番高い「千ガ峰」にも挑戦します。

(二) お茶教室

じつくり、落ち着いた時間が過ごせるよう、取り組んでいます。子どもたちは毎回食べられるお菓子を楽しみにしています。

(三) 音楽教室

ピアノ・合奏を楽しみます。12月のクリスマス会、3月の生活発表会で成果を披露します。

③毎日の活動

保育園の良いところは、0歳児の赤ちゃんから、5歳児まで様々な年齢の子どもがいることです。その中で、時には保育士のお手伝いもしてくれるたのしい最上級生「リーダーさん」として、頑張っています。

本物の価値ある経験は、

一人ひとりの意欲や興味から始まる活動で

四恩保育所は、曾我井バイパス南の山裾の自然に囲まれた場所にあります。

その豊かな自然と、異年齢混合での家庭的な雰囲気の中で、子どもたちは楽しい日々を過ごしています。

昨年、裏山で遊んでいると、「一番上まで行きたい」と子どもたちが言い、それから裏山のピーク数か所を踏破しました。

すると、散歩を歩いて「この山も」と近くの山に。またまた、運動場から見える

「あの山にも」と浅香山へ。

山登りをしていると誰からか

「ヤッホー」が始まり大合唱。

それが高じて、山びこが返ってくる山にも登りに行きました。

何がしたいか、何をするか、何ができるか、それを考えられる3〜5歳は、この山登りのように、様々な活動を、話し合っ決めていきます。



当保育所では、子どもたちの自発的な意欲を大切に、「自分で考える力」を培ってほしいという想いから、「モンテッソーリの教育理念」を基本に据えています。

そのため、教育カリキュラムを、生活や感覚、言語、数、文化に系統立て、それらに応じた環境を整え、相互に作用するようにしています。

子ども一人ひとりと興味ある様々なことに取り組める環境を整えること、子どもたちの成長を支え続ける保育士であるよう、他施設や地域の方々、保護者の方々の協力のもと、日々努力しています。



室内で教具に取り組む子どもたち

あさか保育園

四恩保育所

カブキッズたちが教室生募集

多可町の伝統文化「播州歌舞伎」の美しい演技やせりふにふれて、礼儀・作法を身につけてみませんか？カブキッズたかでは、発表の場で化粧をしたり、派手な衣装を着けたりして「かぶき」を演じることができません。教えてくれるのは、「播州歌舞伎クラブ」で実際活動しているお姉さんたちです。

また、登場シーンや各場面を盛り上げるために太鼓や小太鼓、拍子木（カンカン）という楽器も使います。少しでも興味がある人はぜひ一度のぞいてみてください。

対象 町内の小学生

練習日時 金曜日

午後六時～七時半

場所 多可町中央公民館

参加費 無料

申込・問合せ こども未来課

TEL(32)2385



青少年育成センターの活動

多可町青少年育成センターでは、子どもによる犯罪や子どもへの犯罪被害を防止するために、主に次のような活動を行っています。

■補導活動

約90名の青少年補導委員を委嘱し、夜間巡回補導やまつりなどでの補導活動を実施しています。

■安全見守り活動

見守り・安全巡回パトロール員による昼間パトロール、冬期夕方パトロールを実施しています。

■万引き防止活動

女性補導委員による万引き防止活動を量販店などで展開しています。

■相談業務

専門員による青少年の悩みや問題行動などの相談業務を行っています。

■関係機関との連絡調整

関係機関（小中学校、高校、警察など）との連携強化のための連絡調整活動を行っています。

■学校園防犯訓練

各学校園において不審者に対応する訓練を実施しています。

ノー部活デーの取り組みについて

多可町の各中学校では今年度も週に1回のノー部活デーを実施します。ノー部活デーの実施により生徒の休養や規則正しい生活はもとよりけがの防止や効率的な活動を目指します。

また、家族とのふれあいや趣味等の時間を持つことで生徒や教職員の心身のリフレッシュを促し、実りある部活動が実現できる環境作りを進めていきます。

多可町教育委員会では子どもたちの生きる力をはぐくむため、今後も学校と連携し部活動を支援していきます。

■ノー部活デーの曜日

- 中町中学校 …… 毎週火曜日
- 加美中学校 …… 毎週月曜日
- 八千代中学校 …… 毎週月曜日



教職員定時退勤日について

昨年度に始まった教職員の定時退勤（ノー残業デー）の取組を今年度も継続します。

以下のように決めておりますので、ご理解をよろしくお願い致します。

■教職員の定時退勤日

- 中町南小学校 …… 毎週木曜日
- 中町北小学校 …… 毎週金曜日
- 松井小学校 …… 毎週木曜日
- 杉原谷小学校 …… 毎週金曜日
- 八千代南小学校 …… 毎週木曜日
- 八千代北小学校 …… 毎週金曜日
- 八千代西小学校 …… 毎週木曜日
- 中町中学校 …… 毎週火曜日
- 加美中学校 …… 毎週月曜日
- 八千代中学校 …… 毎週月曜日



※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【問い合わせ先】多可町教育委員会こども未来課 TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142 E-mail:kodomo@town.taka.lg.jp